



浦安の子どもたちのために様々な場面で活躍してくださっている方たちを紹介します。



浦安市スポーツ協会



浦安市スポーツ協会の方にインタビューしてみました。

どのような活動をしていますか？

福元 春季・秋季の市民大会や、東京ベイ浦安シティマラソンの開催に協力しています。最近では、障がいをもった子どもたちを対象としたスポーツ教室を年4回実施しています。また、いろいろなスポーツを経験して、何か自分に合うスポーツを見つけてほしいという思いから、スポーツ体験会も始めました。



障がい児・者スポーツ教室を始めた理由は？

福元 これからは、障がいがあるなしにかかわらず誰もが共に楽しむインクルーシブスポーツの時代です。まだまだ試行錯誤の段階ですが、多

くの人と接する機会を作りたいと思っています。

松木 障がいをもった子どもたちの居場所作りにつながればと思います。子どもたちにいろいろな体験をさせてあげたいと思っています。

どんなときにやりがいを感じますか？

福元 協会としてはやはり競技力の向上も大切にしているので、子どもたちが県民体育大会などで活躍すると、やったなと思います。

松木 教室に参加している保護者や子どもたちから意欲的な言葉が聞けると、やってよかったなと思います。

今後の取り組みは？

福元 スポーツ体験会と障がい児・者スポーツ教室の2つを軌道に乗せたいと考えています。スポーツは「する・みる・支える」とあると思いますが、最近どちらかという、「みる」に傾斜しているように思います。それぞれの競技人口が減って



いることに危機感を覚えています。スポーツを通じて地域や社会に貢献できるような人になってほしいです。

松木 競技にもこだわり、福祉にも貢献していきたいと思います。地域に溶け込んでいけるかということも大事にしたいと考えています。



スポーツを通して何を感じてもらいたいですか？

福元 スポーツはいろいろなことを教えてくれますが、自分と違う子がいるんだということに目覚め、助け合っているいろんなことを共有してほしいと思っています。



取り組み

青少年スポーツ推進事業

浦安市スポーツ協会では、子どもたちに様々なスポーツにふれあう機会を設けるために、スポーツイベントの開催に取り組んでいます。令和2年2月には、東小学校で「楽しいラグビー体験会」を開催しました。小学生約40名が、ラグビーの体験を行い、ラグビーに親しみ、楽しむ姿が見られました。



ラインアウト体験



ラグビーボールでストラックアウトに挑戦

障がい児・者スポーツ教室

平成30年度から障がい児・者を対象としたスポーツイベントに取り組んでいます。サッカー、卓球、ラグビー、陸上の教室を開催し、毎回親子でそれぞれのスポーツを楽しんでいます。



卓球教室の様子



サッカー教室の様子